

二〇一五年二月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

根を養えば樹は自ら育つ

東井義雄

植物の根は土の中にあり、目には見えません。しかしながら、その見えない根は大きな枠割りを果たしています。土の中にしっかりと根を張り、幹全体を支えます。そして、根から吸収した水分や栄養分を幹や枝葉に送り、その結果、植物はたくましく生長していきます。

では、私たちの日常に置き換えると、この言葉からどのようなことが教えられるでしょうか。私が中学生の頃、野球部の監督は「走ることが基本」ということで、とにかく走らされました。大変きつく、正直、あまり楽しくない練習でしたが、体力がついた実感は確かにありました。競技によって練習内容は違うかも知れませんが、自分自身の土台とも言える根を鍛えることは、体力、技術の向上に不可欠です。その練習は、一見退屈な反復練習かも知れませんが、土台が出来てこそ次のステップに上げられるものです。日々の学習でも同じ事が言えると思います。基礎（土台）があつての応用ですね。やはり、何事においても土台となる根は大切なものだと思つて教えられるます。

最後に、平安学園に通うみなさんは、「三つ大切（ことば・じかん・いのち）」をしつかりと心の土台にして、日々の学園生活を送ってもらいたいと思います。

今月の聖語

ジャスミンの花が萎れた花びらを捨て落とすように、貪りと怒りとを捨て去れよ。

『ダンマパダ』

ジャスミンが萎れた花びらを落とすように私たちも、貪りと怒りを捨てるようにと釈尊は述べられています。仏教の言葉で心身を悩ませるはたらきを煩惱といいます。この煩惱のなか、特に私たちを悩ますものに「三毒の煩惱」というものがあります。この「貪り」と「怒り」はその「三毒の煩惱」に数えられます。自分に都合の良いものを貪り求めることと、自分の都合の悪いものに怒ることです。自分の欲しているものを貪り過ぎると自分の身を滅ぼすことになるかも知れません。「依存症」という言葉もあります。自分の都合の悪いことに怒りを覚え、それがエスカレートすると争いが起こります。そんな心のありかたを少しでも反省し、たとえ全て捨て去ることが出来なくても、自分自身をコントロールしていくことが大切だと思います。日々の生活の中で教訓になる言葉ですね。